

必要求人医師数と現員医師数の合計数の現員医師数に対する倍率が高い二次医療圏は、中河内医療圏1.17倍、泉州医療圏1.12倍であった。

また、調査時点において求人していないが、医療機関が必要と考えている必要求人医師数を含めた必要医師数と現員医師数の合計数の現員医師数に対する倍率が高い二次医療圏は中河内医療圏1.20倍、泉州医療圏1.14倍であった。

単位：人、倍

二次医療圏名	現員医師数A	必要求人医師数B	(参考) 必要医師数C	
			倍率 (A+B) / A	倍率 (A+C) / A
豊能	1,916	107	1.06	1.06
三島	937	60	1.06	1.08
北河内	1,518	134	1.09	1.11
中河内	605	102	1.17	1.20
南河内	1,115	60	1.05	1.07
堺市	1,053	90	1.09	1.10
泉州	1,172	141	1.12	1.14
大阪市	4,692	288	1.06	1.08
計	13,008	982	1.08	1.09
全国計	167,063	18,288	1.11	1.14